



実技試験の想定問題に取り組む駒ヶ根工業高校の生徒

国家資格の取得応援

電気工業業組合 駒工生を指導

上伊那地域の電気工事業者

25社でつくる南信電気工業

協同組合上伊那地区会は、国

家資格「第二種電気工事士」

の試験に挑む駒ヶ根工業高校

(駒ヶ根市)の生徒を指導し

ている。3、21日の平日、生

徒が実技の想定問題に取り組

んでいる放課後に合わせ、会

員が毎日同校を訪れている。

電気科2年生を中心とする

生徒51人が6月4日に行われ

た筆記試験に合格し、今月22

日の実技試験に挑戦すること

になった。例年より合格者が

多く、職員だけではサポート

できないため、同会がボラン

ティアで指導に協力。期間

中、会員が4、5人ずつ交代

で講師役を務めている。

10日は会員5人が訪れた。

実技試験は、40分以内に指定

された施工条件に従って電気

回路を組み上げる。指導では

生徒が作った回路を会員が点

検し、改善点を教えた。電気

科2年の堀川大暉さん(16)は

「現役の人から助言がもらえ

て心強い。期間中に多くを学

べれば」と話していた。

同会地区長の中島和彦さん

(58)「駒ヶ根市」は「まじめ

で優秀な生徒ばかり。全員合

格してもらいたい」とし、「将

来、電気工業業の道に進み、

若い力で業界を支えてもらえ

れば」と期待していた。

(布袋宏之)